

# 令和8年度再生可能エネルギーの活用促進に向けた理解促進事業 業務委託仕様書

## 1 業務概要

2050年の温室効果ガスの排出実質ゼロを目指す「日置市2050脱炭素ビジョン」に基づき、市民や企業に対して再生可能エネルギーや省エネの基礎知識や導入事例、市内における再エネ設備等を紹介しながら、再生可能エネルギーに対する理解を深め、設備等の導入促進を図る。

## 2 業務履行期間 契約締結日の翌日から令和9年3月12日までとする。

## 3 業務内容

再生可能エネルギーの普及、理解促進を図るため、再生可能エネルギー導入または活用事例を紹介する小中学生及び市民向けの学習機会の提供を行う。

### ア 小中学生向けの再生可能エネルギーに関する学習機会等の提供

これまで市内小中学校及び義務教育学校全20校のうち、14校で再生可能エネルギーに関する基本的な内容を学ぶ学習支援を実施してきた。これまで未実施となっている6校に対して学習支援実施を提案しながら、令和8年度も引き続き市内学校での学習支援に取り組む。あわせて、学校においても授業の自走ができるよう、学習用の資料の提供やマニュアルの整備等の検討を進める。

本学習支援では、学校の意向を確認しながら、各年代の学習指導要領を考慮し、講義、ワークショップ及び施設見学などを通じて、地球温暖化対策における再生可能エネルギーの有効性や、地域で再エネを導入・活用する意義についての知識を深め、子供たちが自分事として身近に感じられる内容を想定している。

受託者は企画内容に基づき、各回の講師の選定、依頼及び調整を行うとともに、タイムスケジュールや役割分担等の当日の運営に必要な資料や参加者に配布する資料の作成、必要な機材及び道具の手配など、開催に向けた準備を行う。また、会場手配や参加者募集及び研修会当日の運営を行い、開催後は当日の記録を作成するとともに、講師への謝金・交通費の支払いを行う。

なお、謝金・交通費の支払いにあたっては、国または市の規定を参考とする。

### イ 市民向けの再生可能エネルギーに関する研修会等の提供

市民が自発的に参加したくなる体験型の学びの場を提供する。具体的手法としては、従来の講義形式や発電所見学に加え、多世代が参加可能なワークショップ（例：発電の仕組みを簡易的に体験する実験等）の開催などを通じて、市民が自分事として再生可能エネルギーを身近に感じられる内容を想定している。

学習内容としては、地球温暖化対策における再生可能エネルギーの有効性を体系的に伝えると同時に、地域で再エネを導入・活用する意義や地域で再生可能エネルギー

導入を推進することの具体的なメリット等を提示する。

受託者は企画内容に基づき、各回の講師の選定、依頼及び調整を行うとともに、タイムスケジュールや役割分担等の当日の運営に必要な資料や参加者に配布する資料の作成、必要な機材及び道具の手配など、開催に向けた準備を行う。また、会場手配や参加者募集及び研修会当日の運営を行い、開催後は当日の記録を作成するとともに、講師への謝金・交通費の支払いを行う。

なお、謝金・交通費の支払いにあたっては、国または市の規定を参考とする。

#### ウ 学習等の実施回数について

学習等の実施回数はア及びイ合わせて5回以上とする。

#### エ 報告書のとりまとめ

ア及びイの実施内容を踏まえ、報告書の作成を行う。

#### オ 成果品

- ① 報告書（A4版）…………… 2部
- ② 上記、報告書を含む電子媒体（CD-R等）…………… 一式